

## 屋久島生態系モニタリング

### 西部海岸地域の森林利用の現況②

西部林道拡幅工事を検討するため動物の行動調査とともに交通量調査が行われた(揚妻直樹'96、杉浦秀樹'97)。これらの調査は、'93年夏(7月28日~8月6日)、'95年夏(7月28日~8月1日)、'95年冬(2月2日~2月4日)に行われ、交通量を計測している。これによると、'93年夏の自動車交通量は1日当たり98.2台、'95年夏は138.5台、'95年冬は32台と、なっており、観光利用であるレンタカー及び県外ナンバーの自家用車による利用が多くなる。そして、「冬季における屋久島西部林道の利用状況 世界遺産地域内の道路整備と野生動物保護の論議のために」(揚妻'96)によれば、今後とも生活関連で交通量が飛躍的に増加するとは考えられない。

当日は肌寒く小雨の降るなか、午前十時から日高屋久町長、仲屋久町議会議長、中西屋久島森林管理署長、山部森林環境保全センター所長がヤクスギの苗木一本を丁寧に植栽しました。

平成十一年五月十七日「世界史全遺産会議」の開会式ご臨席のため屋久島を訪問された際、皇太子さま、雅子さまご夫妻が「ヤクスギランド」と樹齢三千年の「紀元杉」を視察されたおり、来園を記念して植えた

また、近くには天皇陛下が皇太子時代の昭和四十七



ヤクスギの隣に植樹しました。

## 敬宮愛子さまの御誕生を 祝しヤクスギを記念植樹

昨年十二月一日の敬宮愛子さま御誕生をお祝いして、同月十五日(土)にヤクスギランドで記念の植樹を行いました。

年に皇后陛下と来園された際の記念樹もあり、記念植樹したヤクスギが三代並ぶことになりました。

### 野口健の

LOVE  
THE  
EARTH

《世界最年少で世界七大陸最高峰登頂を成し遂げた野口健さんが、世界自然遺産の屋久島の素晴らしさを伝えます。》

野口氏グループ三名、シエルパ三名、栗生小五・六年生七名外ガイド等合わせて二四名での登山となりました。

当初淀川登山口から宮之浦岳・縄文杉を経て荒川口

### 自然休養林

### 月間最多入場者 記録更新

(ヤクスギランド)

ヤクスギランドへの入場者が昨年十一月期に一一、四〇二人を記録し、過去最高の平成十年八月期の一〇、八六二人をぬき月間最多入場者の記録を更新しました。

## 屋久島の植物

サツマイナモリ  
あかね科



千葉県以西に分布する多年草。高さ二五cmほどで、林内の水のしたたる岩の上などに生育する。

一月から枝の先に、白い数個の花を咲かせている。乾燥標本にすると、葉は赤紫色が増して、別もののような美しい仕上がりになる。

に下る縦走を計画していましたが、今冬最初の降雪で、急遽縄文杉を経て新高塚小屋、第一展望台往復のコースに変更しました。

夫婦杉から雪があり、高塚の尾根ではヒメシヤラに附着した霧氷や一〇cm程の



過去一〇、〇〇〇人を超えたのは平成十年の八月、十一月期、平成十一年の三月期に続き四回目となりました。

ちなみに白谷雲水峡の月間最多入場者は昨年八月期の九、五二一人で、両自然休養林ともゴールデンウィークの五月期、夏休みの八月期、観光シーズンの十一月期が入場者の多い月となっています。

### お知らせ

新年に入り二日、三日、四日と連続してヤクスギランド、白谷雲水峡へ向かう道路が積雪また凍結により通行規制がなされています。

本格的な冬の時季です。交通規制等確認のうえ交通安全に十分注意してください。

(この記録は一月三日テレビで放映された)

文責 太田五雄

# 林 外 雨 p h

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	最大値	最小値
97	小杉谷	4.7	4.5	4.5	4.8	5	5.1	4.8	4.9	5	4.3	4.8	4.6	4.8	5.1	4.3
	白谷雨量計	4.4	4.4	4.6	4.7	4.9	5.1	4.7	4.9		4.2	4.9	4.5	4.7	5.1	4.2
	保全センター	4.2	4.3	4.2	4.7	4.7	4.8	4.5	4.6	9.2	4.2	4.5	4.4	4.9	9.2	4.2
	淀川入口	4.9	4.7	4.8	4.8	5	5.3	5	5		4.5	5	4.7	4.9	5.3	4.5
98	小杉谷	4.8	4.9	4.8	5.1	5.1	5.1	5.4	4.6	4.7	4.9	5	4.3	4.9	5.4	4.3
	白谷雨量計	4.7	4.8	4.9	4.7	5	5.1	4.8	4.5	4.6	4.8	4.8	4.3	4.8	5.1	4.3
	保全センター	4.5	4.7	4.7	5.1	4.6	4.7	6.1	4.2	4.7	4.7	4.4	4.1	4.7	6.1	4.1
	淀川入口	5.1	5.2	5.1	5.1	5.3	5.3	5.2	4.7	4.8	5.5	5.1	4.5	5.1	5.5	4.5
99	小杉谷	4.7	4.6	4.9	5.3	4.9	4.9	5.2	5.2	5.4	4.4	4.6	4.5	4.9	5.4	4.4
	白谷雨量計	4.5	4.5	4.8	5.1	5	4.9	4.8	5.2	5.2	4.4	4.4	4.5	4.8	5.2	4.4
	保全センター	4.5	4.4	4.8	4.9	4.8	4.5	4.7	4.7	5.9	4.5	4.2	4.2	4.7	5.9	4.2
	淀川入口	4.9	4.8	5.2	5.4	5.3	5.1	5.3	5.3	4.9	4.8	5	4.8	5.1	5.4	4.8
00	小杉谷	4.1	4.2	4.2	3.9	4.3	4.4	4.6	4.8	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.8	3.9
	白谷雨量計	4.1	4.1	4.1	3.9	4.3	4.6	4.7	4.6	4.7	4.5	4.4	4.3	4.4	4.7	3.9
	保全センター	4.1	4.1	4.3	3.9	4.4	4.2	4.5	4.4	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.5	3.9
	淀川入口	4.4	4.2	4.2	4	4.5	4.7	4.8	4.6	4.5	4.6	4.2	4.6	4.4	4.8	4
01	小杉谷	4.7	4.8	4.8	4.8	4.4	4.4	5.4	4.9					4.8	5.4	4.4
	白谷雨量計	4.6	4.5	4.6	4.9	4.3	4.7	4.6	4.6					4.6	4.9	4.3
	保全センター	4.8	4.6	4.8	4.8	4.7	4.5	3.8	4.5					4.6	4.8	3.8
	淀川入口	4.7	4.4	4.3	4.8	4.3	4.6	4.2	4.9					4.5	4.9	4.2

## 屋久島国有林内での主要研究調査

研究機関	研究名	期間	研究目的	屋久島国有林での調査内容
鹿児島大学	文部科学省科学技術振興調整費「循環型社会システムの屋久島モデルの構築」	平成13年度～3カ年	環境と共生した物質・エネルギー循環システムの実現化のための新しい技術開発を行うとともに、経済社会システムを構築し、住民との合意形成手法を提言する。	屋久島のバイオマス資源の増殖技術開発のための著名木以外のヤクスギ、ヒノキの採穂。
森林総合研究所	環境省国立機関公害防止等試験研究費「屋久島森林生態系における固有樹種と遺伝子多様性の保全に関する研究」	平成13年度～平成17年度	ヤクスギの次世代更新における遺伝情報の解析や巨樹スギの遺伝情報の次世代への継承の解析を行うとともに、ヤクスギを含む森林生態系の群集動態を明らかにして、ヤクスギを含む天然林を保全する条件を解明する。また、絶滅危惧種であるヤクタネゴヨウの天然更新を阻害している要因を遺伝学的及び生態学的に解析するとともに、個体の保存に役立つ組織培養技術の開発なども行い、現存個体の分布・枯損状況、種子稔性に関わる遺伝的要因、照葉樹林の他樹種との関係を明らかにして、ヤクタネゴヨウとそれを含む照葉樹林の保全のための条件を解明する。	
林木育種センター九州育種場	「農林水産省ジーンバンク事業」	昭和60年度～	農林水産省ジーンバンク事業の林木遺伝資源部門で、センターバンクを林木育種センターとし、多様化する材木育種の発展に資するための育種素材の供給源の確保、絶滅に瀕している種や品種系統の確保、各種の科学研究の発展に必要な材料の確保等のため、多様かつ貴重な遺伝資源の収集・保存・評価を行う。また、遺伝資源及びその情報を大学、民間等へ提供する（提供は試験研究が原則）。	縄文杉、大王杉、弥生杉他16本の著名ヤクスギから採穂し、16個体の各クローンを九州育種場に保存している。今後、屋久島国有林内、屋久町及び上屋久町に現地外保存地を設定して、植採する予定。 ヤクタネゴヨウについても穂木の採取、増殖を行い九州育種場内でつぎ木によるクローン採取園をを造成するとともに実生苗の育成を行っている。12年度に苗134本を屋久島国有林内に植採し、展示林としている。13年度も187本植採予定。